

(仮称) 宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト
宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施しよう！

ミーティング3 | 宮前区らしいソーシャルデザインセンターを考えよう

日 時：令和4年3月13日（日）13：30～16：30

場 所：オンライン

グループワーク：宮前区らしい
ソーシャルデザインセンター像を深めよう

グループワークの進め方

① 自己紹介

1人ずつ簡単に自己紹介しよう

- ・ お名前
- ・ 参加されている活動（あれば）
- ・ 宮前区SDCに関わるとしたら、どんな役割で関わってみたいと思いますか？

61

② 宮前区SDC像（案）の意見出し

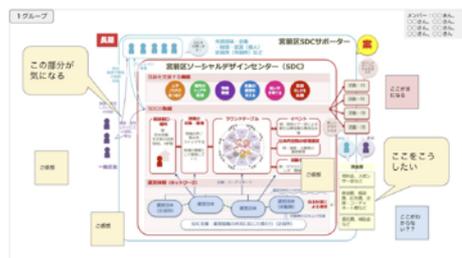
- ・ 宮前区SDC像（案）へのご意見（感想、わからなかった点、気になる点など）を考えよう
- ・ 意見をグループ内で共有しよう



62

進行役がワークシートに記録していきます

- ・ オンラインのワークシート
- ・ 画面を共有しながら進めます



64

③ 発表

進行役から話し合った内容を共有します



65

目次 | 各グループのまとめ

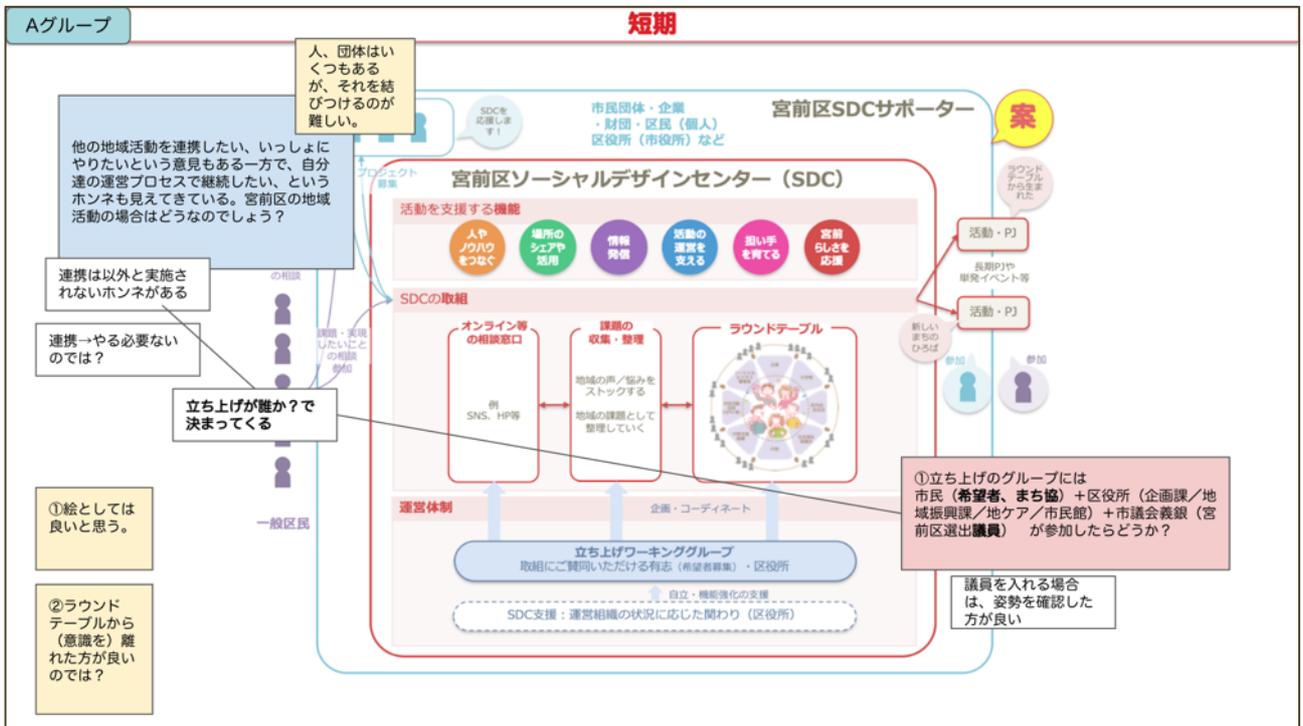
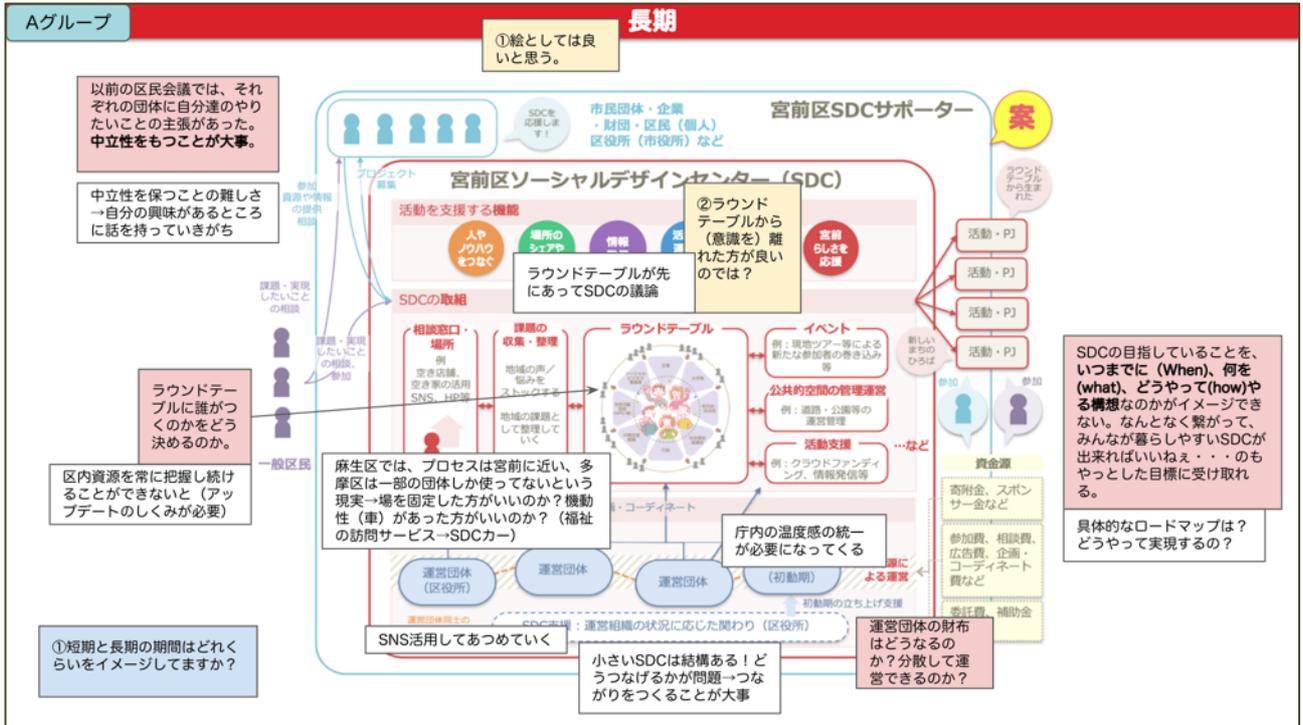
A グループ：2p

B グループ：6p

C グループ：11p

D グループ：15p

A グループ



凡例 | ●感想 | ◆気になったこと | ▶わからなかったこと

*コメントの内容をもとに色分けしているため、ワークシート上の色分けとは異なる場合があります

[長期]

人の巻き込み方

●地域への関心が高まっている機会を捉え、現役世代の参加を促すことが大事

- ・リモートワークが増加する中で住んでいる地域への関心が高まる傾向があるので今がチャンス
- ・現役世代、学生をいかに地域活動に参加していただけるのか、しくみ（広報、募集、活動実績案内）をつくりたい。現状はシニアの方、地域活動主催運営者の限られたメンバーによって運営されている。
- ・SDGs に関心ある人は取り込みやすい

◆ボランティア活動ができる子育て世代が減っているため、様々な人を巻き込むことが一層大事

- ・ボランティア活動をやれる子育て世代が減りどのようにいろいろな人を取り込んでいくかが課題

◆現役世代は忙しいので、有償の活動にしたい

- ・②運営側のスタッフはボランティアではなく有償で活動するようにした方が良い（無償ボランティアにすると、現役世代が参加できにくくなるため）
- ・サンフェスタ（7年目）では必ず謝礼を払っている。2015年からスタッフが継続している（出店費→謝金）
- ・お金ありきか？モチベーションか？
- ・経済的にめぐまれた人しか参加できないのはよくない

運営主体・体制

●運営組織になる小さな活動をつなげていくことが大事

- ・小さい SDC 的な活動は結構ある！それをどうつなげるかが問題→つながりをつくるのが大事
- ・SNS を活用して集めていく

◆中立性を保つことが大事

- ・自分の興味があるところに話を持っていきがちで難しい
- ・以前の区民会議では、それぞれの団体に自分達のやりたいことの主張があった。
- ・中立性をもつことが大事。

◆有償で活動するようにした方がいい

- ②運営側のスタッフはボランティアではなく有償で活動するようにした方が良い（無償ボランティアにすると、現役世代が参加できにくくなるため）[再掲]

◆複数組織で運営するとして、SDC の財布はどうなるのか？考える必要がある

- ・運営団体の財布はどうなるのか？分散して運営できるのか？

◆庁内の温度感の統一が必要になってくる

- ・ワークショップにはたくさん協力したが、区役所内部でしっかり動かしていくという熱量をもってもらうことが大事

SDC の取組：相談窓口・場

●場や拠点は固定だけではなく、移動できることも視野に考えるとよさそう

- ・麻生区では、プロセスは宮前区に近い、多摩区は一部の団体しか使っていないという現実→場を固定した方がいいのか？機動性（車）があった方がいいのか？（拠点を持たずに出張できる SDC カーを福祉の訪問サービスを参考に検討している。）

SDC の取組：課題の収集・整理、ラウンドテーブル

●区内の資源の情報を更新して把握し続けるしくみが必要

- ・区内資源を常に把握し続けることができないと（アップデートのしくみが必要）

◆ラウンドテーブルより SDC のあり方の議論ができると良い

- ・②ラウンドテーブルから（意識を）離れた方が良いのでは？
- ・ラウンドテーブルが先にあって SDC の議論が後にきていて順番がおかしいと感じた

▶ラウンドテーブルに誰がつくかをどのように決めるのか？

- ・ラウンドテーブルに誰がつくのかをどう決めるのか。

▶SDC は市民課題を解決するする組織ですか？

- ・交通課題、空き家対策、なんでも扱うが、最初から全部できるわけではないという認識

情報発信

◆希望のシナリオが知られていない

- ・希望のシナリオ自体が知られておらず、若い世代にというのが、基本的に難しい。

SDC のあり方・考え方・進め方

●SDC の考え方／絵としては良いと思った

- ・①絵としては良いと思う

◆どうやって実現するのかといった具体的なロードマップが必要（短中期のステップを示す）

- ・SDC の目指していることを、いつまでに（When）、何を（what）、どうやって（how）やる構想なのかがイメージできない。なんとなく繋がって、みんなが暮らしやすい SDC が出来ればいいねえ・・・のもやっとした目標に受け取れる。

[短期]

運営主体・体制

◆地域活動同士の連携は宮前ではどれくらいニーズがあるのか？意外と連携を求めているというホンネもある

- ・他の地域活動を連携したい、いっしょにやりたいという意見もある一方で、自分達の運営プロセスで継続したい、というホンネも見えてきている。宮前区の地域活動の場合はどのようなでしょう？
- ・人、団体はいくつもあるが、それを結びつけるのが難しい。

◆ワーキンググループの立ち上げが誰か？で動くしくみになるかどうかが決まってくる

- ・①立ち上げのグループには、市民（希望者、まちづくり協議会）＋区役所（企画課／地域振興課／地ケア／市民館）＋市議会義銀（宮前区選出議員） が参加したらどうか？
- ・議員を入れる場合は、姿勢を確認した方が良い

SDC の取組：課題の収集・整理、ラウンドテーブル

◆ラウンドテーブルより SDC のあり方の議論ができると良い

- ・ラウンドテーブルが先にあると SDC の議論が後にきていて順番がおかしいと感じた

SDC のあり方・考え方・進め方

●SDC の考え方／絵としては良いと思った

- ・①絵としては良いと思う

[その他質問]

▶短期と長期の期間のイメージは？

- ・①短期と長期の期間はどれくらいをイメージしていますか？

凡例 | ●感想 | ◆気になったこと | ▶わからなかったこと

*コメントの内容をもとに色分けしているため、ワークシート上の色分けとは異なる場合があります

[長期]

人の巻き込み方

◆大多数の区民が SDC の取組について知らない。どのように参加を広げていくかが課題

- ・今は同じメンバーが希望のシナリオに関わっている。今後は多様な人を巻き込める仕掛けが必要。ポイントがつく、SNS で参加できるなど、新しい関わり方の模索が必要ではないか。
- ・SDC のこと自体知らない人が圧倒的に多いと思います。これまでのイベントもそうでしたが、限られた人の中で進んでしまうのかなという懸念があります。
- ・新しい声を聞くことも大切
- ・現時点での世代の偏りがある。20 代をどう巻き込むか
- ・リーチしたい世代／人にまだ露出していない。その世代に出て行っていない

●一般の人でもわかりやすく楽しい関わり方を考えることが大事

- ・一般の人でもわかりやすい関わり方。具体的、楽しいよ！という雰囲気的大事
- ・区役所・市役所の HP での周知が硬い。見やすさも大事

●ラウンドテーブルは多様な人が参加できる・することが大事

- ・ラウンドテーブルは多様な人が参加できる、参加することが大事、その仕組みを考えることが大切だと思う。個人の方は SNS など

◆継続的に参加する人とどのように出会い、増やすかが課題

- ・成果にあげられていた、地域の資源を知れた・ノウハウを共有できた、は割と予想通りの気がした。人が集められればそのようになりやすい・気がしたので・・・。大きな課題はどのように継続的に参加する人と出会い増やすかだと思います。

運営主体・体制

●SDC は区役所主体のしくみだと理解している人も多い印象を受けた

- ・SDC が区役所主体の仕組みと思っている方も多いような気がした。

▶区役所と区民の役割分担は？

- ・区役所が中心になると思いますが、区民参加の場合の役割分担はどうなるのか？それはこれから決めることでしょうか？

▶SDC と個人として関われるのか？

- ・個人で関われるのか？どんな関わりができるのか？

▶ **長期の運営団体がゆるやかにつながるイメージがわからなかった**

- ・長期的な案の団体がゆるやかにつながり運営する、というところ。SDC 運営団体を作るのではなく、団体が所属して役割分担をするということ？

▶ **拠点・場があったら誰が運営するイメージか？**

- ・リアルな場としての SDC は、その運営主体はどこ・誰と想定されるのでしょうか？

● **拠点・場には地域に詳しい、人をつなぐ役割のコーディネーターがいると良い**

- ・コーディネーターのような人は必要。人の相性を把握していたり、人をつなぐ役割をするなど、地域に詳しい人が必要

◆ **全てを把握するコーディネーターに頼りきりの体制は、つなぐ機能として成り立たないのでは**

- ・全てを把握して、コーディネートできる人は地域どの程度いるのか？そこまでいないのではないか。そのような人材を育成するのは大変
- ・詳しい人はいるかもしれないが、その人に頼りっきりだと機能として成り立たないのではないかが心配

● **地域の人や資源について詳しい人がいなくても、つながりを生むような仕組みがあると良い**

- ・属人的ではない、つながりを生む仕組みが必要
- ・属人的に地域の人や資源に詳しい人もいるが、そういう人だけを頼りにするのではなく、答えの探し方や場所を知っている人や人に頼らない、属人的ではないつながりを生むしくみだと良い

SDC の取組：相談窓口・場

◆ **SDC が開かれた場の推進をするのに、場を持たないことに矛盾を感じた**

- ・SDC の役割が開かれた場所の推進なのに、場を持たないで運営することを前提にしているのが矛盾を感じました

● **SDC はオープンに開かれた場所があることが大事**

- ・ここに行けば誰かと話ができるような、まちの広場のような SDC だといいいのでは
- ・屋根のある拠点はイメージしやすい

● **市民創発を生み、まちの課題を吸い上げる、気軽に立ち寄れる拠点・場があると良い**

- ・くつろげる場所があると良い。ふらっと立ち寄れて、そこで生まれる何気ない会話から、市民創発や課題の抽出ができるのではないかな
- ・相談の内容はちょっとしたことでも良い。公園のゴミ、子育てのこと、活動の後継者がいない等

● **公共施設の一角など、区の資源や施設を借りられると良い**

- ・移転後の現区役所の跡地／広場等に SDC の拠点があると良いのではないかな
- ・区の資源／施設の一室を借りられないかな

◆相談窓口を設置した際に、区役所との住み分けが気になる

- ・区役所窓口との住み分けは？

SDC の取組：課題の収集・整理、ラウンドテーブル

◆SDC の役割は、区の資源をつないでコーディネートする役割ではないか？

- ・確認ですが、SDC の役割は、宮前区の資源（人・活動）をつなぐ役割コーディネート、ということでしょうか？
- ・相談窓口は行政で、SDC はつながりやコラボを仕掛けていく側のイメージ

●SDC の役割は、みんなの困りごとを持ち寄って、まちの課題として捉え、新しいやり方／解決策を考えることだと良い

- ・みんなの意見を持ち寄って、新しいやり方が出てくるのが SDC なのではないか？
- ・個人の悩みをまちの課題に変換するのが SDC が果たせる役割か？
- ・ラウンドテーブルに持ち込まなくても、そこに集まった事例やノウハウの共有で解決できることもあるかもしれない

情報発信

●地域の活動情報を集約している、オンラインおよび紙媒体のものがあると良い

- ・個人ではできないので、行政の力を
- ・まずはたくさんある各種団体・活動を一覧表にして、それを公開・共有する必要があるのじゃないでしょうか？
- ・オンライン&紙媒体、両方あると良い
- ・活動相関図など、これまで作成した既存の情報や整理してオープンにしていく

[短期]

SDC の取組：課題の収集・整理、ラウンドテーブル

▶課題をどのように収集・整理していけると良いか？

- ・どうやって課題を集積していくと良いか？

情報発信について

●まずは優先順位をつけて、すぐにでも始められる情報発信や課題収集・整理に取り組めると良い

- ・まず短期ですぐにでも取り組めそうなのは情報発信と課題の収集・整理ではないか
- ・担い手の育成は時間と労力もかかるが、情報発信と課題収集・整理ならすぐにでもできるのではないか

●既存の資源やツールを活用して、オープンにして広めていくことが大事

- ・たくさんある情報や既存のツールを整理して、オープンにしていく

●新しいホームページ等をつくるのは時間も労力もかかる。協力団体の既存の広報ネットワークを活用して広めていけると良い

- ・ホームページは見たい人がいくところ。行政のホームページも探しにくい。新たなホームページを作るのも年月がかかるため、ハードルが高い／フットワークが重くなる
- ・Instagram や Twitter など、広めていけると良い。希望のシナリオに関わっている市民団体のネットワークを経由してシェアしてもらえると良いのではないかと

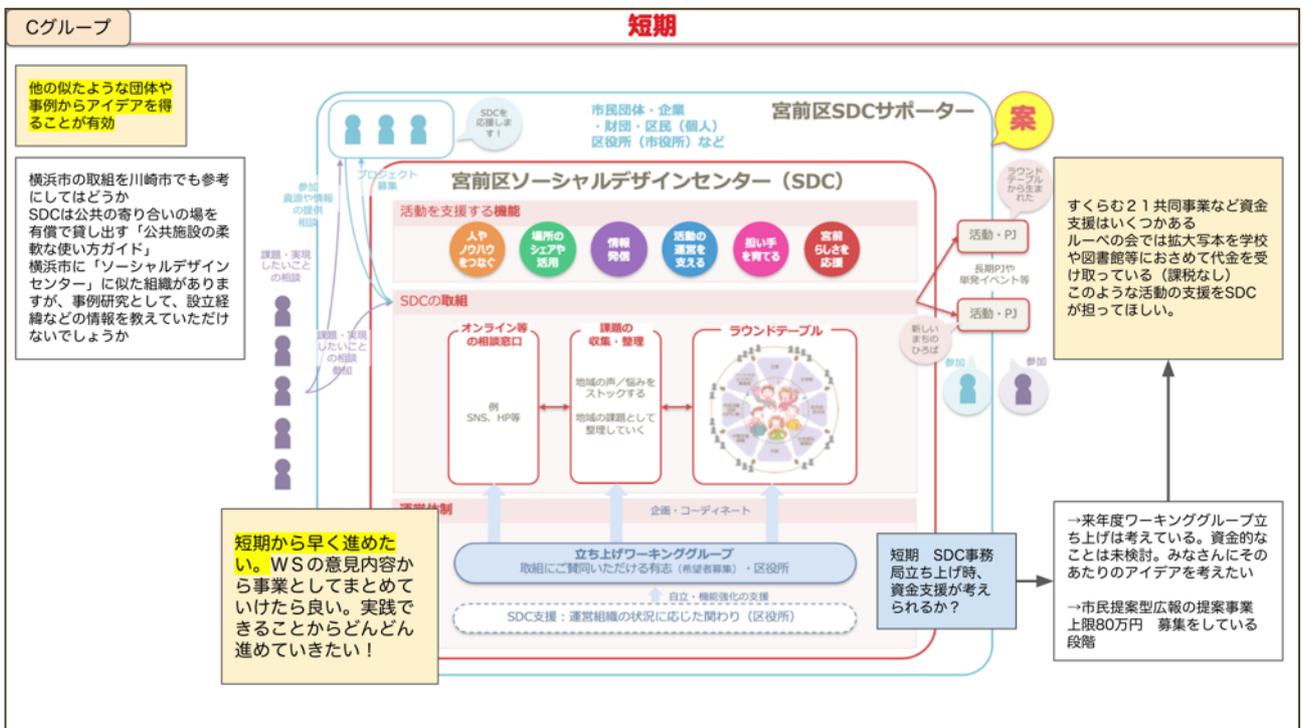
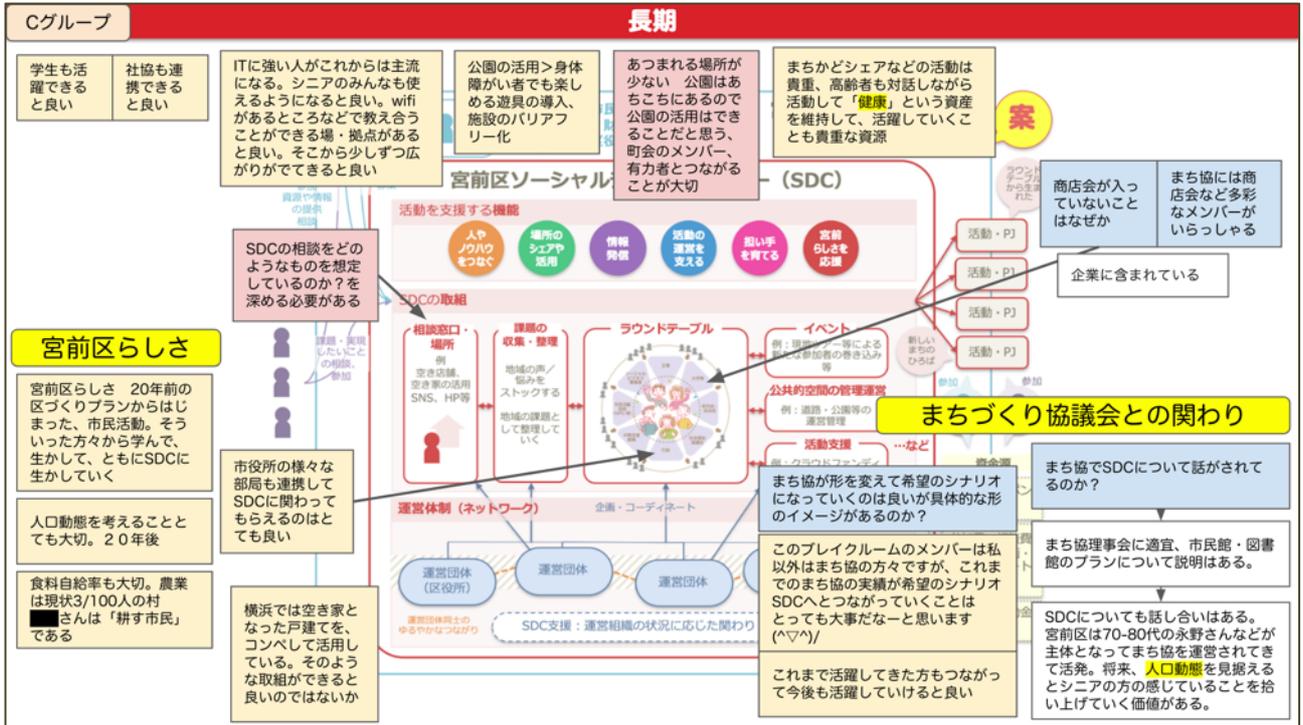
[その他質問]

SDC のあり方・考え方・進め方

▶どこまでが決定していて、どこまでが変更可能かがわからない

- ・どこまでが決定していて、あと何が区民の意見で変わるものなのかが見えてないです。

Cグループ



凡例 | ●感想 | ◆気になったこと | ▶わからなかったこと

*コメントの内容をもとに色分けしているため、ワークシート上の色分けとは異なる場合があります

[長期]

人の巻き込み方

●健康なシニアが活躍していくことが地域にとって貴重な資源

- ・まちかどシェアなどの活動は貴重、高齢者も対話しながら活動して「健康」という資産を維持して、活躍していくことも貴重な資源
- ・今後 20 年の人口動態を見据えたときに、若い人の視点に加え、今現在シニアの人々のまちづくりに関わって実際現実に得られている健康、自由闊達さが”希望”のシナリオには生かされる必要があると感じています。

●IT を活用したシニアが増えてそこから広がると良い

- ・IT に強い人がこれからは主流になる。シニアのみんなも使えるようになると良い。Wi-Fi があるところなどで教え合うことができる場・拠点があると良い。そこから少しずつ広がりができると良い。

●学生や社協も巻き込めると良い

- ・学生も活躍できると良い
- ・社協も連携できると良い

運営主体について

●まちづくり協議会の経験や実績を SDC にも活かしていくことが大事

- ・このブレイクルールのメンバーは私以外はまちづくり協議会の方々ですが、これまでのまちづくり協議会の実績が希望のシナリオ SDC へとつながっていくことはとっても大事な一と思います
- ・これまで活躍してきた方もつながって今後も活躍していけると良い
- ・宮前まちづくり協議会も、辻さんの宮前まち倶楽部も、フラットな関係性の中で“市民”が立ち上げに関わっていくことが一番大事だと思います。

▶まちづくり協議会が SDC と関わる具体的なイメージは？

- ・まちづくり協議会が形を変えて希望のシナリオになっていくのは良いが具体的な形のイメージがあるのか？

SDC の取組：相談窓口・場

◆SDC が受ける相談はどのようなものを想定しているか、深める必要がある

- ・SDC の相談をどのようなものを想定しているのか？を深める必要がある

SDC の取組：課題の収集・整理、ラウンドテーブル

◆ラウンドテーブルのメンバーに商店街が入ると良い

- ・まち協には商店街など多彩なメンバーがいらっしゃる。
- ・商店街が入っていないことはなぜか

SDC の取組：その他

●空き家や公共施設の活用を推進できると良い

- ・横浜では空き家となった戸建てを、コンペして活用している。そのような取組ができるの良いのではないかと
- ・あつまれる場所が少ない 公園はあちこちにあるので公園の活用はできることだと思う、町会のメンバー、有力者とつながることが大切
- ・公園の活用>身体障がい者でも楽しめる遊具の導入、施設のバリアフリー化

●SDC は市民活動の資金支援をする機能があると良い

- ・ルーペの会では拡大写本を学校や図書館等におさめて代金を受け取っている（課税なし）
- ・このような活動の支援を SDC が担ってほしい。

宮前区らしさについて

●これまでの市民活動の知見を SDC にも活かして宮前らしさを出していけると良い

- ・宮前区らしさ：20 年前の区づくりプランからはじまった、市民活動。そういった方々から学んで、生かして、ともに SDC に生かしていく

SDC のあり方・考え方・進め方

●行政の部局が連携して SDC に関わることは良い

- ・市役所の様々な部局も連携して SDC に関わってもらえるのはとても良い

●将来的な人口動態も見据えて SDC のあり方を考えることが大切

- ・20 年後の人口動態を考えることがとても大切。
- ・食料自給率も大切。農業は現状 3/100 人の村

●他地域の事例を勉強して参考にできると良い

- ・他の似たような団体や事例からアイデアを得ることが有効
- ・横浜市の取組を川崎市でも参考にしてみようか
- ・SDC は公共の寄り合いの場を有償で貸し出す
- ・「公共施設の柔軟な使い方ガイド」を参考に
- ・横浜市に「ソーシャルデザインセンター」に似た組織がありますが、事例研究として、設立経緯などの情報を教えていただけませんか

[短期]

運営主体・体制：立ち上げについて

●ワークショップの意見から実践できること進めて早期に立ち上げられると良い

- ・短期から早く進めたい。ワークショップの意見内容から事業としてまとめていけたら良い。実践できることからどんどん進めていきたい！

運営主体・体制：資金調達について

▶SDC 事務局の立ち上げにどのような資金的な支援が考えられるか？

- ・短期 SDC 事務局立ち上げ時、資金支援が考えられるか？
- 来年度ワーキンググループ立ち上げは考えている。資金的なことは未検討。みなさんとそのあたりのアイデアを考えたい
- 市民提案型広報の提案事業 上限 80 万円 募集をしている段階

●立ち上げに活用できそうな資金支援はいくつかありそう

- ・すくらむ 2 1 共同事業など資金支援はいくつかある

[その他質問]

SDC のあり方・考え方・進め方

▶まちづくり協議会では SDC についてどのような議論が行われているのか？

- ・まちづくり協議会で SDC について話がされてるのか？
- ・まちづくり協議会理事会に適宜、市民館・図書館のプランについて説明はある。
- ・SDC についても話し合いはある。宮前区は 70-80 代の永野さんなどが主体となってまちづくり協議会を運営されてきて活発。将来、人口動態を見据えるとシニアの方の感じていることを拾い上げていく価値がある。

凡例 | ●感想 | ◆気になったこと | ▶わからなかったこと

*コメントの内容をもとに色分けしているため、ワークシート上の色分けとは異なる場合があります

[長期]

人の巻き込み方

●若い人や働く世代や少しお手伝い人たちが「地域活動のパート」のように、気軽に関われる入り口があると良い

- ・若い人に参画してほしい
- ・働く世代などの課題としてまちに関わる時間を確保することが難しい。
- ・中心に関わることはできないけど、ちょっとお手伝いしたい人はいる。(数時間、半日、写真撮影など)
- ・地域活動のパートさんみたいな感じ

●子どもも関われるSDCの活動があると良い

- ・「地域活動のパートさん」が出来るなら、小学生などの子どもたちもそういう形で参加できるのではないかな？

●セカンドキャリアの人々のスキルを提供できると良い

- ・セカンドキャリアの人のスキルの提供などが行き届くと良いなと思った。

◆担い手を育てる／関わってもらえる方法を考える必要がある

- ・どうやって入ってもらうかを考える。できるやり方を考える。(お父さん、お母さん世代は、夜、休日は会議に出難い。共働きでも参加できる仕組み)

●公園などのオープンで日常の延長線でSDCに人を巻き込めると良い

- ・日常の延長で会議の場を設ける。区役所ではなく公園で行うなど。
- ・仕事の息抜き時間で参加できるとよい。

運営主体・体制

◆運営団体として関わるより、個別に関わったほうが良いのではないかな

- ・団体全員が関わるというよりも、個別に関わってもらう方が良いのでは？
- 楽しくないと活動は続かないと思うので、団体を理想とするが、段階として個人も良いのではないかなと思った

▶まちづくり協議会がSDCになるのかな？

- ・まちづくり協議会の取り組みを希望のシナリオへ移行していく。お金の支援や人的支援も受けている。まちづくり協議会も変わっていく必要があると思っている

●運営の資金源は、自分たちで考えて稼いで良いと知ってワクワクした

- ・どうやって運営していくのが気になっていた。自分たちで経済活動していいんだ！ということとでワクワクしている。
- ・売れるコンテンツをつくって良いことにほっとした

SDC の取組：相談窓口・場

●相談を受ける人の負担が大きくならないよう、相談がオープンにされ、回答できる人が相談に乗るような仕組みになっていると良いのではないか

- ・誰が相談に乗るのか。「ふらっと宮前区」は食べ物屋さんを質問すると回答が早くくる。みんなが質問を見れるといろんな人が回答できる。
- ・ふらっと宮前は楽しい内容だからみんなが投稿しやすい。ネガティブな内容だと投稿しにくい
- ・まちづくり協議会でも相談窓口をつくれなかった

◆課題系の相談内容は、オープンな場での発信・共有は難しいかもしれないので、内容に応じて活用するツールを合わせられると良い

- ・相談内容によって、対象によって、発信する内容に応じて、活用するツールも変わってくる
- ・区役所の中に質問募集の掲示板をおく。

●一般区民が持ち寄る課題を、SDC は楽しい課題解決に変換できると良い。どのように課題を呼び込めるかが大事

- ・質問や相談、悩みという難しい課題に感じる。楽しいワクワクすることに変換できるといっていろんな人が関わってくれそう。「楽しく、気楽に参加できる SDC」。気軽に入れる環境づくり

●相談に乗ってくれる人の顔が見えると安心できる

- ・相談を聞いてくれる人の似顔絵がある。顔が見えると安心できる。相談してみようかなと

●相談できる人はすでに地域にいるので、それぞれの得意分野を生かして、つなぐことが SDC の特徴になるのではないか

- ・まちには相談できる人（民生委員、まちづくり協議会委員、区役所、包括など）たちがたくさんいるのに同じ並びに SDC ができる？だからそれらをつなぐことが SDC の役割なのでは？棲み分けをしっかりとつくる
- ・得意な人が答えられる仕組みがあると良い
- ・今ある資源を有効につかう SDC

SDC の取組：課題の収集・整理、ラウンドテーブル

●ラウンドテーブルに入る人をより具体的に見てみたい

- ・老人会、スポーツ推進委員などの活動も入ると良い
- ・子ども会、PTA などにも関わってもらう、市民館や教育委員会
- ・いろんな団体の長がいるとプロジェクトが生まれた時に組みやすい

●公園以外の公共施設の活用のノウハウが蓄積できると良い

- ・公園以外の公共施設などをつかうノウハウみたいなものがまとめてあると良い

●公共施設を使いやすくするために、活用を積み重ねていくことが大事

- ・公共施設を使いやすくするために今回のような取り組みを積み重ねていくことが大事

情報発信

◆宮前区では SDC という言葉が最近活用され始めたため、希望のシナリオは SDC の検討だという認識がなかった

- ・SDC という言葉は初めから使っていなかったため、他の区よりも耳にするのが遅かった。
- ・希望のシナリオ=SDC がわからなかった。年末くらいからやっと認識できるようになった

●区民に広く周知して多くの人に参加してもらえるように発信できると良い

- ・市民・区民に広く周知して、多くの方に参加してもらえるような発信ができるとう良い

宮前区らしさについて

◆「宮前らしさ」は人それぞれなので、包括する言葉はありきたりになってしまいそう

- ・定義がわからない。市民団体が多いこと、高齢者の方が多(=住みやすいと感じている)。十人十色だと思うので、それを包括するとふわっとしたありきたりな言葉になってしまう。

●「宮前らしさ」ってなんだろう？言語化できるコンセプトがあると良い

- ・自分なりにもう一回考えて見ている。それを言語化できるような、一言で説明できるようなコンセプトがあると良い
- ・「人が好き、緑が好き、まちが好き」。新旧の人が混ざっている、自然が豊かにある、田園都市の歴史もあるハイカラなまちが好き
- ・弁えのある人たち。宮前区でよかったと思った。体験を積み上げることで実感する、生活の中に感じ取っていく

SDC のあり方・考え方・進め方

●活動を支援するという機能が楽しそう・ワクワクする

- ・活動を支援する機能の内容はワクワクする。楽しみ。

◆SDC の役割が相談を受ける場所なのか、棲み分けと検討が必要ではないか？

- ・まちには相談できる人たちがたくさんいるのに同じ並びに SDC ができる？
- ・だからそれらをつなぐことが SDC の役割なのでは？
- ・棲み分けをしっかりとつくる
- ・今ある資源を有効につかう SDC

●得意なことを掛け合わせて、新しい価値を生む SDC になると良い

- ・得意なこと×得意なこと=新しい価値が生まれる
 - ・得意技を掛け合わせる、組み合わせる
 - ・市民の共創の場
- どこかに任せるのではなく、みんなで運営していく

[短期]

SDC の取組：相談窓口・場

◆リアルな場所がないため、立ち上げても知られないことが心配

- ・リアルな場所がないからオンラインでの場になる。つくっても見てもらえない。

●まずオンラインでの取組を知ってもらうためにオフラインで見える化することが大事

- ・紙の広告や掲示板は意外と見る人が多い。
- ・イベントに SDC もブースとして出店するとオフラインでの広報になる。